

薬剤師募集

Recruitment of pharmacists



資料のご請求お問い合わせ先

独立行政法人
国立病院機構
九州グループ 人事係



〒810-0065 福岡市中央区地行浜1丁目8番1号
TEL 092-852-1701
<https://kyusyu.hosp.go.jp/>

NHO九州

検索

または、各病院の採用担当者までお気軽にお問い合わせください。



●ロゴマークについて

国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上を、飛翔する「翼」であらわし、柔軟な意識改革を示す毛筆で描きました。また、Health、Hospital、そして患者本位の懇切丁寧を意味するHospitalityの頭文字である「H」であらわし、健全な土台として描き、「翼」と組み合わせました。

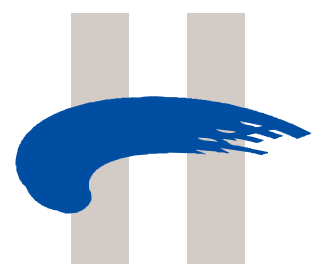
国立病院機構の病院は あなたの力を 必要としています。

私たち国立病院機構は、「医療の提供」、「臨床研究の推進」、「医療従事者の養成」という3つの使命を帯び、全国141病院、約5万床の病床と約6万人の職員からなる我が国最大の病院グループです。

私たちは、国民の皆様から信頼される医療の提供を目指して、地域の医療に貢献し、住民の皆様の支えになりたいと考えています。

国立病院機構の理念

私たち国立病院機構は国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のためにたゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者さんの目線に立って懇切丁寧に医療を提供し質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます。



概要 Overview

名称	独立行政法人国立病院機構	病院数	141病院(九州28病院)
設立	平成16年4月1日	病床数	53,520床
根拠法律	独立行政法人国立病院機構法(平成14年法律第191号)	職員数	約62,000人
業務	①医療の提供 ②医療に関する調査及び研究 ③医療に関する技術者の研修 ④その他付帯する業務		

※平成30年10月1日現在

国立病院機構のネットワーク

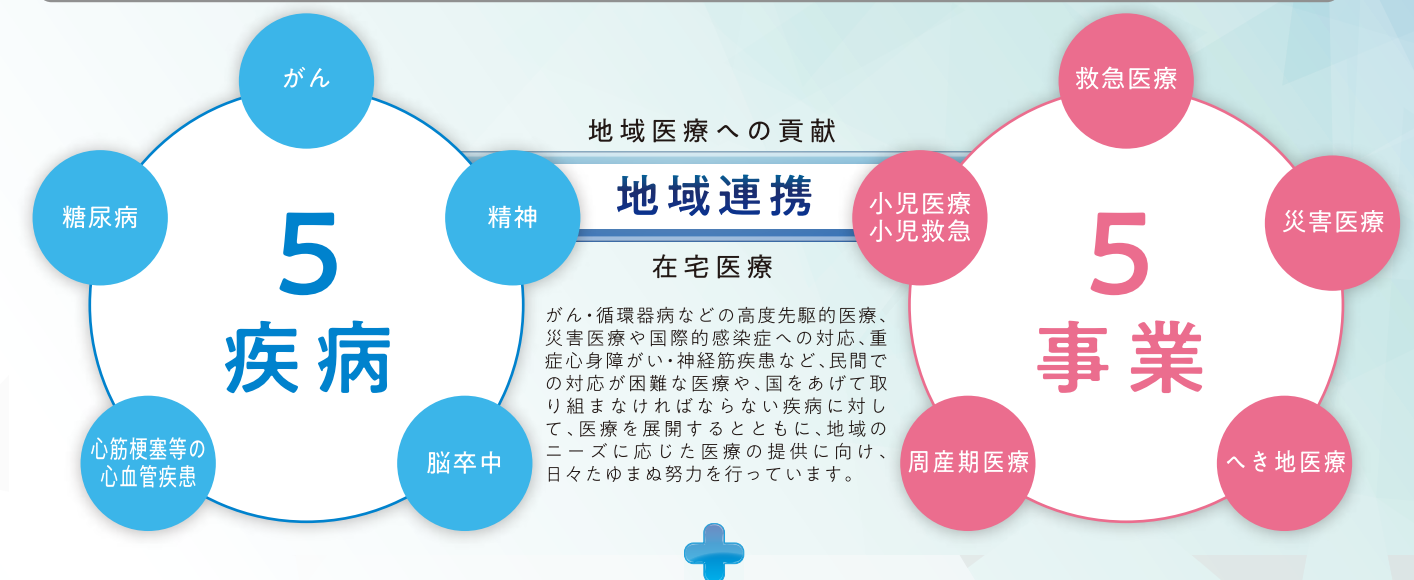
National Hospital Organization Network

全国141の病院からなる
全国最大の病院グループ

国立病院機構が目指すもの

国立病院機構は各病院の機能と特色を活かして、国の政策としての医療を主体的に取り組み、科学的根拠に基づいた医療の実践と患者にわかりやすい医療の提供として、次のことに取り組んでいます。

1. 患者の目線に立ち、国民に満足される安心で質の高い医療の提供
2. 各病院の特色を活かした政策医療の提供
3. 臨床研究を通じた情報発信など我が国の医療の向上への検討
4. ネットワークを活用した教育研修などを通じた質の高い医療人の育成



その他のネットワーク

感染症	血液疾患
肝疾患	感覚器
免疫異常	消化器疾患
骨・運動器疾患	成育医療

セーフティネット系

他の設置主体では必ずしも実施されないおそれのある医療

重症心身障がい児(者)	筋ジス・神経
精神	結核・呼吸器
エイズ	

国立病院機構の事業・運営

国立病院機構の事業・運営「診療」「研究」「教育」事業を行うことにより、国の医療政策として当機構が担うべきものの向上を図り、公衆衛生の向上・増進に寄与しています。

診療



診療事業

- 地域医療との連携強化
- セーフティネット系医療の確実な実施
- 災害等における活動
- 医療の質、患者満足度向上
- 医療安全対策の充実

研究



臨床研究事業

- 診療情報の収集・分析と情報発信機能の強化
- 大規模臨床研究の推進
- 迅速で質の高い治験の推進
- 先進医療技術の臨床導入への推進
- 臨床研究や治験に従事する人の育成

教育

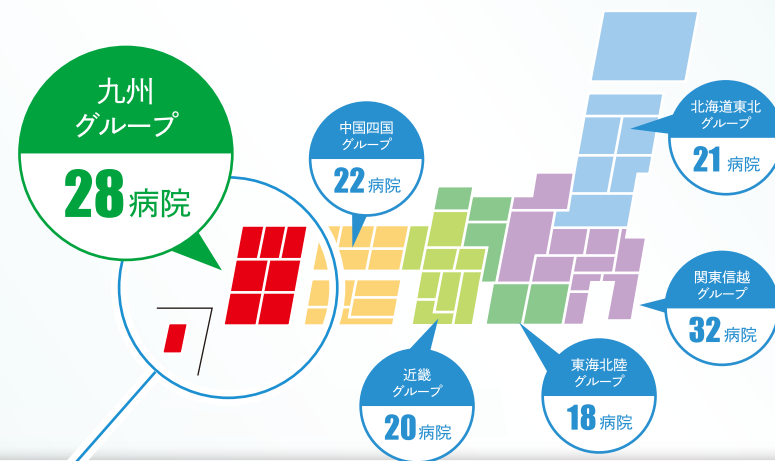


教育研究事業

- 質の高い医療従事者の育成・確保
- 医師、看護師のキャリアパス制度の充実
- 医療従事者研修の充実
- 地域医療に貢献する研修事業の推進

北は北海道、南は沖縄まで、全国6グループ141病院の組織体制で、地域社会の医療に貢献しています。

独立行政法人国立病院機構 九州グループ 病院名と所在地について



Pharmacist

病院薬剤師としての業務の実践

総合的にスキルアップでき、薬の専門家として着実に成長します。

幅広い調剤業務の実践

入院及び外来患者の内服薬（錠剤、散剤、水剤等）、外用薬及び注射薬の調剤・監査業務のほか抗がん剤調製や特殊製剤調製等、個々の患者さんに応じて様々な業務を実施します。

病棟業務の実践

処方薬に基づき服薬指導を実施するだけでなく、カルテ情報として治療方針や検査結果が分かります。医師、看護師と連携し、安全で効果的な薬物治療が提供できます。医師と事前にプロトコルを作成し薬剤師が薬学的介入を行ったうえで処方や検査を提案する薬物治療管理PBP M (Protocol-Based-Pharmacotherapy-Management)を開始する病院もあります。

治験（臨床試験）の推進

国立病院機構のネットワークを活用して迅速で質の高い治験を推進しています。東京の機構本部に総合研究センター治験推進室、126病院（九州：26病院）に治験管理室を設置。（平成31年4月現在）

■治験管理室の設置

治験が適切かつ安全に実施できるように、治験管理責任者、治験管理実務責任者が中心になって、患者さん、治験関連企業等のサポートをしています。

※治験・・・人における試験を一般に「臨床試験」といいますが、「くすりの候補」を用いて国の承認を得るための成績を集める臨床試験は、特に「治験」と呼ばれています。

■臨床研究コーディネーター（CRC）の配置

治験に携わる医師への支援、治験を円滑に遂行するための調整、被験者となる患者さんへのインフォームドコンセント補助、心のケア、治験依頼者への対応（事務局業務等）の役割を担う臨床研究コーディネーターを全国に配置（薬剤師109名、うち九州25名）し、治験を円滑に進めています。

チーム医療の実践

病院内では、多職種でのチーム医療活動を実践できます。



国立病院機構で働く薬剤師独自の特徴

チーム医療の充実や連携強化、医療人としての倫理観やコミュニケーション能力の育成を目的とした各種研修

新規採用者研修

(国立病院機構九州グループ主催の2日間研修)
1日目:他の職種も含めたビジネスマナー等の合同研修
2日目:職種別研修(資格認定、臨床研究、症例検討等)



新規採用者研修会

【最近のテーマ】

平成27年度:がん薬物療法と副作用対策
平成28年度:各領域別における薬物療法
(糖尿病、C型肝炎、脳卒中、関節リウマチ、感染症)
平成29年度:各領域別における薬物療法
(精神科領域、緩和ケア、抗凝固療法、栄養管理)
平成30年度:各領域別における薬物療法
(周術期麻酔管理、不整脈、リンパ腫・骨髄腫、慢性腎臓病、認知症)

スキルアップ研修

経験年数や役職別に対象者を絞ったテーマを設定して実施。



病棟での多職種連携

多職種共同研修の一例

- HIV感染症研修
- 災害医療従事者研修
- 初動医療班研修
- 初級者CRC養成研修
- 上級者CRCを対象とした研修
- チーム医療研修
- 医療安全対策研修
- NST研修
- 青年共同宿泊研修
- 治験研修
- クリティカルパス研修
- チーム医療推進研修(がん化学療法、輸血)

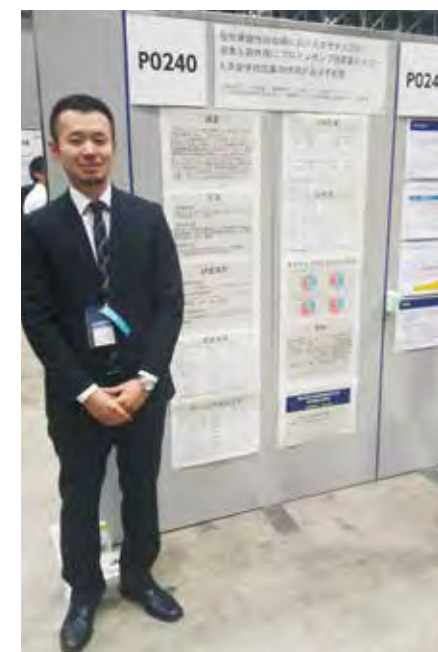


薬剤師の職能を拡げる専門性を活かした研究、学会活動

超急性期医療から慢性期医療
医療、研究、教育
認定・専門資格取得もやる気次第！

認定組織	名称	習得者数
日本病院薬剤師会	がん認定薬剤師	17
	感染制御専門薬剤師	4
	感染制御認定薬剤師	8
	精神科専門薬剤師	1
	精神科薬物療法認定薬剤師	3
	HIV感染専門薬剤師	1
	HIV感染症薬物療法認定薬剤師	1
日本医療薬学会	がん専門薬剤師	4
	認定薬剤師	16
	認定指導薬剤師	6
日本臨床腫瘍薬学会	外来がん治療認定薬剤師	5
日本臨床薬理学会	認定CRC	19
日本緩和医療薬学会	緩和薬物療法認定薬剤師	4
日本静脈経腸栄養薬学会	NST専門療法士	35
日本糖尿病療養指導士認定機構	日本糖尿病療養指導士	9
日本化学療法学会	抗菌化学療法認定薬剤師	3
日本臨床救急医学会	救急認定薬剤師	1

H30.7.1 現在



学会での発表

機構病院のネットワークによる情報交換

国立病院総合医学会

全国6グループが毎年持ち回りで開催している医学会です。全国の国立病院機構病院のほか、厚生労働省、国立医療研究センター、国立ハンセン病療養所などの職員が『シンポジウム』『口演』『ポスター発表』などにより研究発表を行います。約8000人が集まる大規模な研究発表の場です。



総合医学会



総合医学会 全員交流会

九州地区国立病院薬剤師会 総会・研究会・懇親会

九州内の機構病院及びハンセン病療養所の全施設から豊富な知識、経験を有する薬剤師が集まるイベントです。



薬学研究会 総会



薬学研究会 懇親会

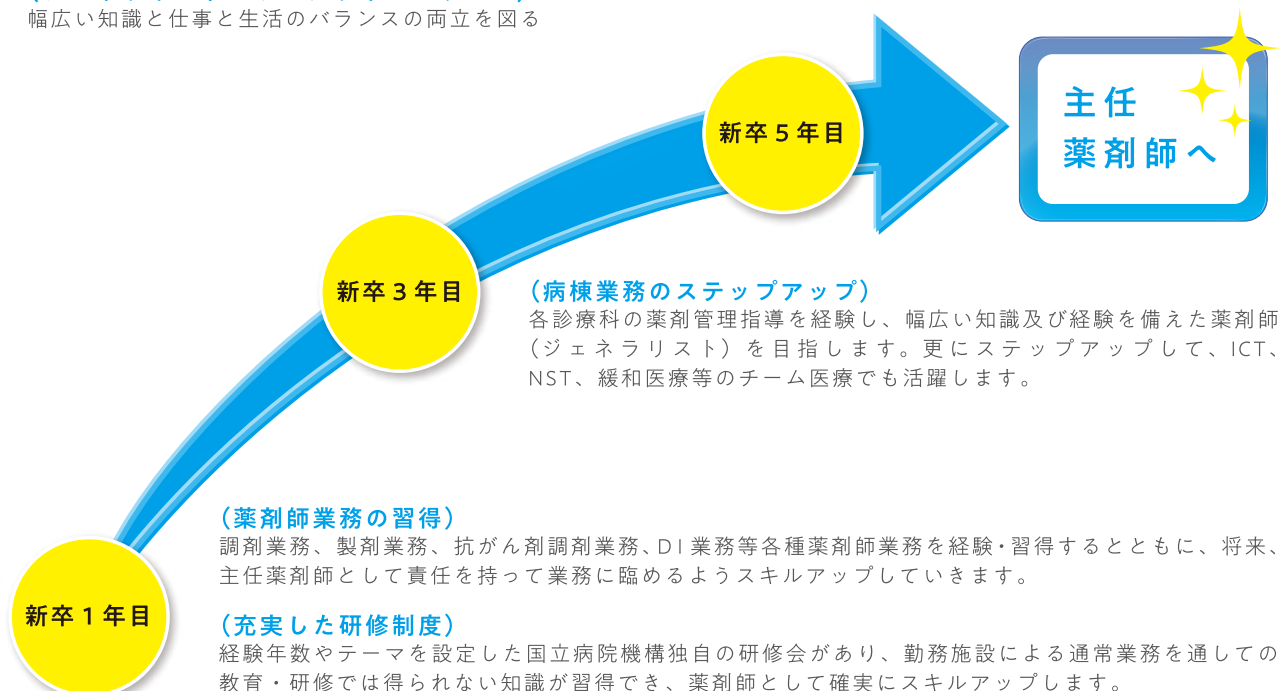
基本的なキャリアパス制度

(各種研究や認定・専門薬剤師資格取得)

学術研究をプランニングして学会発表したり、論文を投稿できるようにします。
また、がん・感染・精神・妊婦・授乳婦等の認定・専門薬剤師資格取得を目指します。

(ジェネラリスト・ワークライフバランス)

幅広い知識と仕事と生活のバランスの両立を図る



キャリアアップの道

認定・専門資格取得も
幹部職員への
キャリアアップも
あなたのやる気次第！



●採用後は九州内の国立病院機構病院及びハンセン病療養所の間で人事異動(転勤)があります。
また、国立病院機構本部や厚生労働省本省、医薬品医療機器総合機構(PMDA)への異動がある場合もあります。

※職員数はH31.3.1現在

ワーク・ライフ・バランス

制度やライフステージの状況もプラスに活かして能力発揮してみませんか！

Q1 勤務時間って、どのくらいなの？

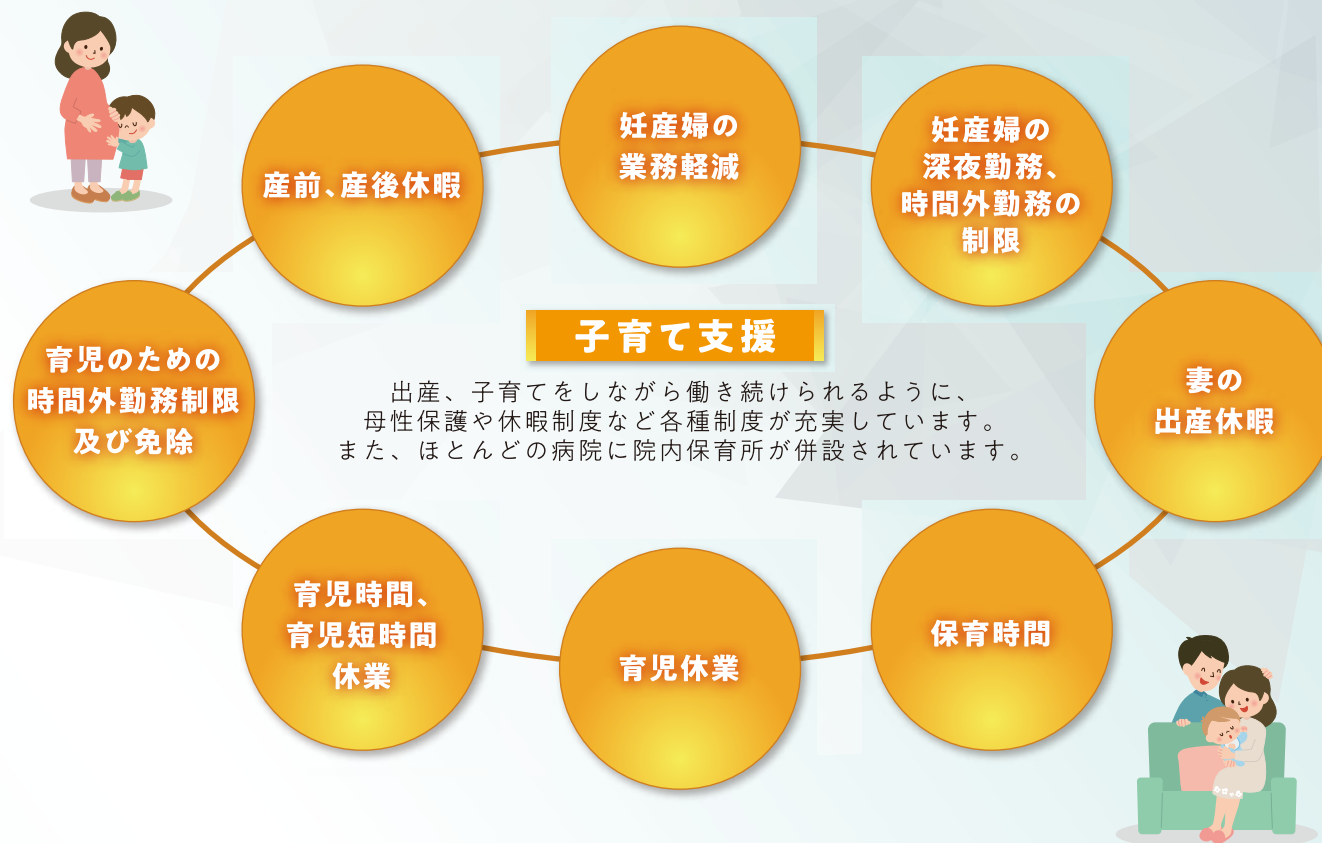
4週間を平均して1週間について38時間45分です。
また、休日は原則として、4週間を通じて8日となっています。

Q2 福利厚生は、大丈夫？

採用と同時に国家公務員共済組合に加入します。共済組合では、出産費、高額療養費、傷病手当金など法律に定められた給付の他に、診療費の一部負担金払戻金、入院付加金など独自の給付制度があります。

Q3 休暇制度って、どのようなものがあるの？

心身のリフレッシュなどのための『年次休暇』や、私傷病によりやむを得ず勤務できない場合のための『病気休暇』、結婚や出産・育児などのための『特別休暇』があり、採用と同時に付与されます。
主な特別休暇…結婚・産前・産後・妻の出産・子の看護・介護・忌引・夏季休暇など



●ワークライフバランスのシュミレーション

採用		結婚		妊娠		出産		育児	
									</

1Day

ある薬剤師の1日

熊本再春医療センター 薬剤師
千場 美奈 平成25年度入職

午前

常駐している病棟の処方内容を監査し、処方箋を印刷します。
患者さんの病態や検査値等を確認し、疑義がある場合は主治医へ疑義照会します。

薬局では外来や入院の抗がん剤の無菌調製を行っています。
被ばくのないよう安全キャビネットの中で調製します。

入院された患者さんの病室へ行き、初回面談を行います。
症状の確認や持参薬の確認等情報収集をします。

患者さんの状態を把握し、持参薬や処方内容や検査値等を確認し服薬指導を行います。
コンプライアンス向上のため、投与スケジュール表やパンフレットを用います。

業務中に疑問に思ったことは先輩の先生方に質問し解決していきます。

病棟や薬局で勉強会に参加します。常に新しい情報を収集し薬剤師としての知識や技術の向上に努めています。



朝礼から始まります。申し送りや一日のスケジュールを確認します。

病棟へ上がり、前日に緊急で投与された内服薬や注射の実施済み処方代行オーダーします。



午後

患者さんの副作用のモニタリングや、カンファレンスへ参加します。病棟では医師、看護師をはじめほかの医療スタッフと情報交換し連携します。

内服薬と注射の調剤業務をします。

入院患者さんについて先輩の先生に相談し、申し送りをします。明日の業務の予定を立てます。

勉強会

10years

ある薬剤師の10年

熊本医療センター 主任薬剤師
藤田 強記 平成20年度入職

肥前精神医療センター勤務(入職1年目～4年目)

西日本最大級の精神科単科の病院であり、他施設よりも精神疾患の薬物療法のみならず、非薬物療法についても深く学ぶことができました。幻覚・幻聴、抑うつなどを訴える患者への対応には悪戦苦闘しましたが、治療とともに症状が改善していく姿を見ると非常にやりがいを感じました。不安や気分の落ち込みなどは精神疾患患者のみならず身体疾患患者も抱え得る感情であるので、最初にしっかりと学べたことはいい経験でした。また、病院の野球部に所属し、事務職や作業療法士、看護師などの他職種と共に汗を流していました。毎年、琉球病院との交流戦も行われており、楽しい思い出の一つです。



九州医療センター勤務(入職5年目～9年目)

総合病院であり、前任施設とは扱う薬剤が全く異なるため、最初は非常に戸惑いましたが、先輩方のサポートもあり、新たに各領域の薬物治療について広く学び、担当した病棟の領域については実臨床で深く学ぶことができました。また、前任施設での経験を活かし、NST 専門療法士・精神科薬物療法認定薬剤師を取得しました。さらに、がん患者の指導も経験し、外来がん治療認定薬剤師を取得することができました。



熊本医療センター勤務(入職10年目～現在)

急性期総合病院で、救急車が後を絶たない病院です。薬剤部業務・病棟業務の他に、外来でがん治療を受ける患者への指導及び抗がん剤治療による副作用に対する医師への処方提案や精神科リエゾンチームに参加するなど、今までに取得した資格や経験を生かした業務にも従事しています。





長崎川棚医療センター 薬剤師
中原 萌子 平成30年度入職

病院薬剤師2年目として

私が現在勤務している長崎川棚医療センターは、「神経難病の九州地区の基幹病院」と「地域医療支援病院」の2つの機能を有しています。神経難病の基幹病院としては、ALSや筋ジストロフィー等の疾患を多く扱っており、日々臨床の現場で実際に患者さんに接し、チーム医療の一員として多くのことを学んでいます。当院は中規模の病院で、他職種と近い距離で連携を図ることができ、チーム医療の中で薬剤師として必要とされることにとてもやりがいを感じています。

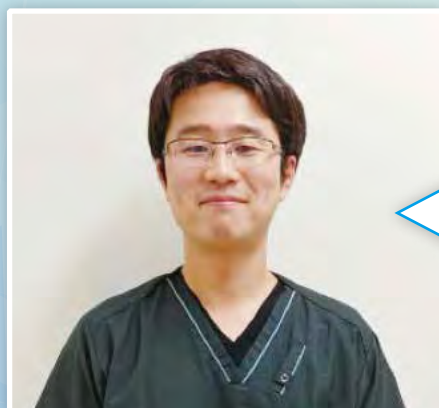
NHOでは1年を通して様々な研修会が開催されています。内容は多種多様で、研修を通して他施設の業務を経験する機会やジェネラリストとして幅広い知識を習得できる機会があるのが特徴だと思います。また認定・専門薬剤師の資格習得や学会発表などのサポートも充実しており、薬剤師としてスキルアップできるととても良い環境だと思います。頼れる先輩もたくさんいます！NHOで病院薬剤師として一緒に働いてみませんか。



熊本医療センター 主任薬剤師
井上 大奨 平成19年度入職

臨床現場に求められる薬剤師として

皆さんは病院薬剤師の仕事についてどのようなことをイメージされるでしょうか。調剤やベッドサイドでの服薬指導をイメージされる方は多いかと思います。現在ではこれらの業務にプラスして臨床の様々な現場で薬剤師が活躍しています。私の関わっているものを例に挙げると手術、感染、災害の分野があります。手術室では麻薬の管理や外来での術前面談を行い安全な手術室運営に貢献をしています。感染対策チームでは抗菌薬の使用状況の確認や処方提案を行い抗菌薬の適正使用に貢献しています。災害派遣医療チーム(DMAT)にも従事しており、熊本地震でも活動を行いました。私の経験したもの以外にもがんや栄養、精神疾患、緩和治療など多くの分野で薬剤師が活躍しています。このように国立病院機構では様々な臨床現場で薬剤師が活躍しており、薬剤師としての力を十分に発揮できる環境が整っていると思います。



九州がんセンター 主任薬剤師
衛藤 智章 平成19年度入職

がん専門薬剤師として

私は上司や先輩薬剤師からのご指導と同僚たちの協力のおかげで、九州がんセンターで勤務しながらがん専門薬剤師の資格を取得することができたことに大変感謝しています。

さて、私たち薬剤師はお薬の投与量確認や、患者さんへの服薬指導だけでなく、抗がん薬による副作用を予防・軽減するための支持療法薬などを適正に使用するため、医師へ最新の情報に基づいた処方提案をしています。また院内のレジメン管理、他のスタッフへの教育、臨床研究など多岐にわたる業務も行っています。一方で私たちが日々接している患者さんはさまざまな不安を抱えながら治療を受けられています。以前、私が服薬指導をした患者さんの中には「ありがとう。あなたの言葉を聞いて安心しました。」と言ってくださった患者さんがいました。私たちはそんな患者さんの気持ちに寄り添い、誰からも必要とされる薬剤師になるため、皆さんと一緒に実践していきたいと思っています。



宮崎東病院 主任薬剤師
尾之内 喜美子 平成21年度入職

ママさん薬剤師として

私は出産前に産前休暇、出産後は産後休暇と育次休業を取得し、子供が1歳3か月の時に職場復帰しました。現在は育児短時間勤務制度を活用しています。

国立病院機構では「仕事と子育ての両立支援プログラム」が定められており、仕事と子育ての両立に悩むことがないような様々な制度が整えられています。

国立病院機構にはその制度を上手に活用してそれぞれのライフスタイルに合った働き方をしているママさん薬剤師が大勢います。悩んだ時はいろいろな先輩の意見を聞いて参考にしてみてください。



厚生労働省医薬・生活衛生局 主査
上田 和明 平成23年度入職

行政を経験している薬剤師として

3年前に出向し、現在、厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課化学物質安全対策室にて勤務しています。厚生労働省では、医薬品の承認・審査、医薬品の副作用対策・救済などの医薬品等の安全性の確保に関わる業務、病院・薬局の診療報酬改定や薬価算定・改定などの医療保険制度に関わる業務及び薬剤師行政の企画・運営など様々な業務が行われています。希望すれば、適切な医療を提供するという行政の立場から、医療に携わることもできます。

このほかにも、医薬品医療機器総合機構や国立病院機構本部等へ出向することもでき、様々な立場から医療の世界を眺めることができるのも、国立病院機構の特色であり、魅力の1つであると思います。

病院薬剤師としてこれから働く方々へのメッセージ

Message

患者さんに安全で効果的な薬物療法を提供することが薬剤師の使命です。国立病院機構では、やりがいを持って働くことができ、充実した教育システム、多職種でのチーム医療活動により、薬剤師、そして医療人として大きく成長できます。国立病院機構九州グループでは、情熱のある優秀な人材を求めています。ぜひ、一緒に国立病院薬剤師として働きましょう！



九州グループ内の病院紹介

小倉医療センター



〒802-8533
福岡県北九州市小倉南区春ヶ丘
10-1
☎(093)921-8881

九州がんセンター



〒811-1395
福岡県福岡市南区野多目3丁目
1番1号
☎(092)541-3231

九州医療センター



〒810-8563
福岡県福岡市中央区地行浜
1-8-1
☎(092)852-0700

福岡病院



〒811-1394
福岡県福岡市南区屋形原4丁目
39-1
☎(092)565-5534

大牟田病院



〒837-0911
福岡県大牟田市大字橋1044-1
☎(0944)58-1122

福岡東医療センター



〒811-3195
福岡県古賀市千鳥1-1-1
☎(092)943-2331

佐賀病院



〒849-8577
佐賀県佐賀市日の出1丁目20-1
☎(0952)30-7141

肥前精神医療センター



〒842-0192
佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津
160
☎(0952)52-3231

東佐賀病院



〒849-0101
佐賀県三養基郡みやき町大字原
古賀7324
☎(0942)94-2048

嬉野医療センター



〒843-0393
佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿丙
2436
☎(0954)43-1120

長崎病院



〒850-8523
長崎県長崎市桜木町6番41号
☎(095)823-2261

長崎医療センター



〒856-8562
長崎県大村市久原2丁目1001-1
☎(0957)52-3121

長崎川棚医療センター



〒859-3615
長崎県東彼杵郡川棚町下組郷
2005-1
☎(0956)82-3121

熊本医療センター



〒860-0008
熊本県熊本市中央区二の丸
1番5号
☎(096)353-6501

熊本南病院



〒869-0593
熊本県宇城市松橋町豊福2338
☎(0964)32-0826

菊池病院



〒861-1116
熊本県合志市福原208番地
☎(096)248-2111

熊本再春医療センター



〒861-1196
熊本県合志市須屋2659
☎(096)242-1000

大分医療センター



〒870-0263
大分県大分市横田2丁目
11番45号
☎(097)593-1111

別府医療センター



〒874-0011
大分県別府市大字内竈1473
☎(0977)67-1111

西別府病院



〒874-0840
大分県別府市大字鶴見
4548番地
☎(0977)24-1221

宮崎東病院



〒880-0911
宮崎県宮崎市大字田吉
4374番地1
☎(0985)56-2311

都城医療センター



〒885-0014
宮崎県都城市祝吉町5033-1
☎(0986)23-4111

宮崎病院



〒889-1301
宮崎県児湯郡川南町大字川南
19403-4
☎(0983)27-1036

鹿児島医療センター



〒892-0853
鹿児島県鹿児島市城山町8番1号
☎(099)223-1151

指宿医療センター



〒891-0498
鹿児島県指宿市十二町
4145番地
☎(0993)22-2231

南九州病院



〒899-5293
鹿児島県始良市加治木町木田
1882
☎(0995)62-2121

沖縄病院



〒901-2214
沖縄県宜野湾市我如古
3-20-14
☎(098)898-2121

琉球病院



〒904-1201
沖縄県国頭郡金武町字金武
7958-1
☎(098)968-2133